

子育て日本一の那覇市へ！
誰ひとり取り残さない、やさしい社会

新時代那覇

子育て日本一、新時代へ

ハイサイ、グスーヨー、チューウガナビラ

那覇市民の皆さま、翁長雄治です。

2022年10月、那覇市長選挙に立候補するにあたり、私の考えと進めていく政策をここにまとめました。

那覇市は次の那覇市長のもとで、市政100周年を経た、新しい時代に入ります。「新時代那覇」の到来を告げる人々の輝きを、街の潤いを、市民が主役の限りない那覇市の可能性を存分に引き出し、発信していく志と力が、新しい那覇市長に求められているのです。

—子育て日本一の那覇市へ

「子育て日本一」とスローガンを掲げるだけで、財源はどうするのかという指摘をいただきます。兵庫県明石市では、同じように疑われた支援施策が多く実現しています。那覇市は、同じ中核市です。子どもたちが笑顔で、元気に、夢と希望をもって過ごせる那覇市のために、行政がもう一步、強く踏み込むときです。翁長雄治は、まさにここ那覇市で、実現させます。

10年後も子どもの貧困問題が課題であっていいわけがありません。10年後も保育園で困っている親がいていいわけがありません。子どもたちは投票権がありません。だからこそ、子どもたちに寄り添った政治を行わなくてはならないのです。私たち大人が、子どもたちに対して、どんな社会を残すのか。翁長雄治は、子育て、孫育て日本一の那覇市モデルを示してまいります。

—誇りある豊かさ

ひきつける力やかせぐ力を、那覇市が身につけることで、潤いある商都としての那覇市を目指していきます。風格ある県都として、歴史に学び、文化を支えつつ、心豊かな那覇市を築いていきます。SDGsを単なるキャッチフレーズとせず、具体性をもった取り組みを進める那覇市にします。

辺野古に新たな基地はつくらせない

私が掲げるあらゆる政策の根底にあるのは、市民とともに誇りある豊かさを共有し、育てていくこと。分断や言いなりの対価としての経済では、決して街は栄えないということです。

だからこそ、普天間飛行場の辺野古移設に対しては、政治的立場の違いを超えて、歩み寄ったウチナーンチュの包容力を何よりも尊重します。県民が心をひとつにすることで、心ない分断を乗り越え、アイデンティティとして、県民が覚悟を示した「辺野古新基地建設の反対」、「普天間飛行場の早期閉鎖撤去」を正々堂々と訴え、要求します。そして、沖縄の中に対立と分断を持ち込む今の政府の対応は、民主主義として恥ずべきものと考えます。

—誰ひとり取り残さない、やさしい社会

平和の意志を引き継ぐ。玉城デニー県政と連携する。そこからスタートした那覇市長選挙への道のり。多くの皆さまから、沢山の支えをいただきながら歩いています。

平和をつくるのは大人です。

経済をつくるのは大人です。

教育をつくるのは大人です。

選挙権を持つ大人だけが、責任とともに、政治を決めていくことができます。これまでの長い歴史で、戦争や災害など、数多の苦難を乗り越えながらも、希望を抱いて営みをつないできたウチナーンチュの積み重ねこそが、今日の暮らしです。

新時代那覇へ。私、翁長雄治は、すべての那覇市民とともに、未来に責任ある決断をするために、これまで変わらなかったことだからこそ変えていく。これまでの時代の政治から一歩踏み出し、未来の政治を切り拓いてまいります。そこに、那覇市に関わるすべての皆さまのご支援をお願い致します。ユタサルグトゥ、ウニゲーサビラ。

2022年10月12日

翁長雄治

新時代

新時代那覇

1、笑顔、元気、夢、希望が広がる街づくり ～子育て、孫育て支援に全国一的那覇市モデル

▽「子ども相談所（児童相談所）」を使いやすい 場所に設立します

これまで那覇市行政が避け続けてきた子ども相談所（法律に基づく児童相談所）は、子どもに関する様々な相談を受ける機関です。それを、誰もが利用しやすい場所に、気軽に立ち寄ってもらえるように設立します。悩みを抱え込まないですむように、専門スタッフが問題解決のため、一緒に考えて、必要な支援につなげます。

▽「児童相談所第三者委員会」を設立します

▽「子どもの権利条例」を制定します

▽「ら・ら・ら・ステーション（子育て世代包括支援センター）」を拡充します

▽「子どもと親の居場所づくり」を市民意見を導入しながら進めます

▽「子どもと利用しやすい市役所」を目指します

▽「待機児童解消」の取り組みを継続します

▽「病後児保育」対応の拡充を行います

▽「保育士の待遇改善」を保育士自身が実感できる形で取り組みます

▽「保育士配置基準」の見直しを国に求めます

▽「保育の広域化」のため、周辺市町村との連携に向けて働きかけます

新時代那覇

- ▽ 「学校給食の無償化」を進めます
- ▽ 「高校卒業までの医療費無料化」を進めます
- ▽ 「給付型奨学金」を拡充します
- ▽ 「教材費」の負担軽減を進めます
- ▽ 「遠征費、部活費」の負担軽減を進めます
- ▽ 「修学旅行費」の負担軽減を進めます

子どもを、孫を育てるために、家計に負担がかかる。当たり前が強いられてきた、これらの負担を、行政の責任で軽減させていきます。子育て、孫育てに苦勞を感じさせない。それこそ那覇市の当たり前にする事で、全国のモデルケースをつくりあげていきます。

- ▽ 「ヤングケアラー」のゼロを目指して、支援体制の強化と相談窓口の設置を行います
- ▽ 「医療的ケア児」への対応を、家族の負担軽減も含めて支援を目指します。
- ▽ 「子どもの貧困対策」のため子どもと親の両面から支援を進めます
- ▽ 「子ども食堂」の支援を民間とも連携して持続可能な取り組みにしていきます
- ▽ 「ひとり親家庭の学び直し」を支援します
- ▽ 「ユニバーサル遊具」の設置を目指します

新時代那覇

2、ひきつける力、かせぐ力づくり

～潤いある、魅力と自立の商都、那覇市へ

▽「事業継続、事業継承」のサポート体制を構築していきます

業種をこえて、事業を継続させる、継承させることは、中小零細企業や個人経営にとって重要な課題になっています。だからこそ、行政がその役割をお手伝いすることで、民間の活力が継続して発展していける那覇市を目指します。

▽「スタートアップ」の創業を支援します

革新的なアイデアで短期的な成長を目指すスタートアップと呼ばれる企業が世界的に生まれてきております。新たな発想から生まれる企業は、急激な成長を遂げるための前段階に、死の谷とも呼ばれる、収益まで時間がかかる、信頼性の問題だけで資金調達が難しいなどの課題を同時に抱えています。そこで行政がかかわることで、民間の結びつきを広げ、未来の成長に重点を置いた企業展開を支援していきます。

▽「新しい経済好循環」で子育ての負担軽減と安心の提供から、商店や飲食の活況につなげます

▽「次世代リーダー育成」のための分野をこえた人材交流を支援します

▽「公契約条例」の効果が拡大されるための運用拡充を行います

▽「労働者のための相談窓口」を設置します

▽「リバースマンター制度」を導入します

▽「靈感商法、マルチ商法の相談窓口」を設置します

新時代那覇

- ▽ 「新型コロナからの経済再生」に向けて、地域の実情に応じた細やかな対策を国に求めます
- ▽ 「DX」を地元企業と自治体の両面で進めます
- ▽ 「観光事業の多様化」に向け、スポーツツーリズムやエコツーリズムに積極的に取り組みます
- ▽ 「高付加価値な観光」に向け、医療ツーリズムや全世代向けナイトツーリズムに取り組みます
- ▽ 「観光バスの乗降場整備」をはじめ、観光と生活の調和を図ります
- ▽ 「交通渋滞解消」で日本ワーストの状況改善に取り組みます
- ▽ 「LRTなど次世代型新公共交通網」を継続して推進します
- ▽ 「バス利用の向上」を民間と連携して進めます
- ▽ 「自転車レーン」の整備で安全な空間創出に取り組みます
- ▽ 「農水畜産物の6次産業化」を販路拡大とあわせて取り組みます
- ▽ 「まちなか農業」に向けた検討を進めます

新時代那覇

3、歴史と文化の薫る、風格ある県都 ～心豊かに文化、アートの基盤たる那覇市

▽「しまくとぅば」の継承、普及を進めます

組踊、琉球舞踊、ウチナー芝居、古典音楽、民謡のみならず、旗頭やエイサーなど、沖縄のアイデンティティの根幹となり、基層となるのは大切な伝統たる言葉です。だからこそ、触れる機会を増やし、継承につながるための取り組みを行政からも行います。

▽「若手アーティストや実演家」のための支援を検討します

▽「文化芸術のアウトリーチ」のための活動を小中学校にて展開します

▽「表現の自由」が保障される街であることを宣言します

▽「旗頭、エイサー団体」などへの支援と活動の場の確保を進めます

▽「伝統工芸が暮らしに溶け込む」ための支援を進めます

▽「J1対応サッカースタジアム」を県やJFAとの連携で奥武山公園に早期建設します

▽「空手、古武道、角力」などへの支援に取り組みます

▽「図書行政の充実」に向けて取り組みます

新時代那覇

- ▽ 「新型コロナ後遺症の相談窓口」を設置します
- ▽ 「新型コロナ後遺症の通院支援」を進めます
- ▽ 「感染症対策」でアフターコロナに備えます
- ▽ 「高齢者の居場所づくり」に地域、広域、共生といった視点から取り組みます
- ▽ 「ちゃーがんじゅうパス（仮称）」として、がんじゅう一日乗車券の対象拡大を目指します
- ▽ 「民生委員」充足率の向上を目指します
- ▽ 「障がいのある人の自立生活」に向けた就労支援や居住サポートの充実をはかります
- ▽ 「温室効果ガスの排出削減」のため循環型社会の形成に積極的に取り組みます
- ▽ 「小学校区まちづくり協議会」を推進します
- ▽ 「地域猫活動やTNR（飼い主のいない猫への不妊去勢手術）」を民間と連携し取り組みます
- ▽ 「保護譲渡活動」を動物愛護の周知も踏まえて支援します
- ▽ 「バゲージボランティア（保護犬猫搬送ボランティア）」の周知を進めます

新時代那覇

4、SDGsへの本気の取り組み ～17の目標の課題解決へ那覇市の全力

SDGsとは、2015年の国連サミットにて全会一致で採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。人権、経済、社会、地球環境など、さまざまな分野にまたがった課題に分類され、17の目標が設定されています。誰一人取り残さないため、「那覇市SDGs推進方針」をより強靱に、具体的な行動でゴールに向かう那覇市をつくります。

- ▽ 「貧困」を生まない那覇市へ、「住宅確保要配慮者居住支援協議会」を設立します
- ▽ 「飢餓」を救う那覇市へ、「種子、植物、家畜の遺伝的な多様性」の保護に取り組みます
- ▽ 「健康と福祉」に寄与する那覇市へ、「保健所の機能強化」により、職員の増員や熱帯の伝染病対策への連携を行います
- ▽ 「質の高い教育」が可能な那覇市へ、「性別や年齢、国籍などにとらわれず」学べる環境、働ける環境を整備します
- ▽ 「ジェンダー平等」が当たり前前の那覇市へ、「夫婦別姓や新たなパートナーの在り方」など積み上げてきた取り組みを発展させます

新時代那覇

- ▽ 「安全な水」を守る那覇市へ、P F A S問題への徹底対応を国に求めます
- ▽ 「クリーンエネルギー」を使う那覇市へ、「Z E B、Z E H」への積極的取り組みを進めます
- ▽ 「働きがい」ある那覇市へ、「同一労働同一賃金」の徹底を進め、国にも求めます
- ▽ 「産業と技術革新」が持続する那覇市へ、「災害に強いインフラ整備」のため継続した見直しを行います
- ▽ 「不平等」を解消する那覇市へ、「賃金格差の解消」を目指し、低いほうから40%の所得の増え方が全体の平均を上回るという国際的な目標の実現を国に求めつつ取り組みます
- ▽ 「住み続けられる」那覇市へ、「マチグゥー周辺の迷惑行為対策やアーケードなどの環境整備」のため地域組織と連携して安全安心を確保します

新時代那覇

- ▽ 「つくる責任、つかう責任」を理解する那覇市へ、「那覇市・南風原町環境施設組合と連携した環境保全」の取り組みを向上させます
- ▽ 「気候変動」に対応する那覇市へ、「災害時の避難所の環境向上」に取り組みます
- ▽ 「海の豊かさを守る」那覇市へ、「那覇港管理組合と連携して海洋ゴミの削減」に取り組み、海の汚染を防ぎます
- ▽ 「陸の豊かさを守る」那覇市へ、「特定外来生物への早期対応」を継続して行い、広報活動にも努めます
- ▽ 「平和と公正」が約束される那覇市へ、「ヘイトスピーチ規制条例」の制定を目指します
- ▽ 「パートナーシップ」のある那覇市へ、「環境問題でベトナムと連携」したように、アジア地域との協力関係を深めます

5、平和の意志を引き継ぎ 玉城デニー県政と連携する

▽辺野古新基地建設・オスプレイ配備 反対

辺野古移設を認めること、見守ることは、今後100年は置かれ続ける外国軍隊の基地の建設に、みずから加担すること。それは未来の沖縄を担う世代に、基地問題の異議申し立てを行う根拠を奪ってしまうこと。過重な基地負担は速やかに解消されなければならないのです。美ら島沖縄に、辺野古新基地・オスプレイは要りません。だからこそ、保革をこえて、辺野古新基地建設・オスプレイ配備に断固反対します。

▽那覇港湾施設の早期返還

▽普天間飛行場の早期閉鎖撤去

▽第32軍壕の保存公開に向けた積極的検討

▽首里城復元に向けた国や県と連携した協力

偏見、差別、戦争を生み出すのは「無関心」
「推移を見守る」など、無責任に人ごととせず
真っ向から取り組む、責任ある那覇市に

ひやみかち・うまんちゅ市民の会
那覇市銘苅1-14-16 大盛産業ビルB102
TEL: 098-943-1083
FAX: 098-943-1084

〔内部資料〕本紙は政治団体「ひやみかち・うまんちゅ市民の会」による政治活動小冊子です